

令和6年度「あおもり創造学」活動報告①

本校では、2年次で『あおもり創造学』という探究活動に取り組んでいます。

4月から一人一課題を設定し、8つの分野に分かれて調査活動をおこなってきました。

6月には、八戸学院大学の加来聡伸准教授をお招きし、『フィールドワーク入門』講演会を実施しました。今後は、夏休みなどを利用して、生徒各自がフィールドワークに出かける予定です。

以下に講演会の様子と生徒の感想の一部をご紹介します。



演 題:『フィールドワーク入門』

講 師:八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 准教授 加来 聡伸 氏

日 時:6月11日(火)7校時

生徒の感想

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

情報収集を行う際のポイントとして聞き上手になることが大事だと分かった。深い探究をするために答えてほしい質問だけをするのではなく、関連した話も含めて、会話するようにしてさらに新しい情報を得られるようにする。

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

先入観を壊す=とかう始めていこうと改めて思った。これはこうあるべきだという考えを脱却し、自分から疑問に立ち向かっていこうと思った。アンケートの結果として利用し、研究を簡潔させるのではなく、一部のデータとして利用する=と、メモをする=との意義を改めて考え直したいと思った。

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

- ・フィールドワークは調べ方から行い、自分で探検する=
- ・誰か話を聞くときは1人だけじゃなく複数人に関 (キーワードを見つけて調べ)
- ・ヒアリングは丁寧で大事な話、相手の気持ちに話の切りかたの配慮
- ・フィールドワークは文献調査、メモの整理が大事

令和6年度「あおり創造学」活動報告②

2年次の『あおり創造学』では、夏季休業を利用して、フィールドワークに取り組みました。生徒が自分でアポイントメントをとった事業所などを訪問して、インタビューや調査活動を行いました。多くの事業所や施設の方々にご協力いただき、大変ありがとうございました。以下に八戸市総合保健センターを訪問した際の写真と感想の一部を紹介します。

八戸市総合保健センター訪問の様子



参加した生徒の感想

今回は総合的な探究のフィールドワークとして保健センターを訪問し、自分が探究活動でテーマとして掲げている「災害発生時の医療体制」についていくつか質問をさせていただきました。主に災害が発生した際の対応と病院で行われている避難訓練についてお聞きし、改善した方がいい点がないか考える良い機会となりました。普段知ることができない内容を教えていただいたので、それをいかして今後の活動でより良い医療体制をつくるための方法を考えていきたいと思います。

先日の八戸市総合保健センターへのインタビューでは、保健センターでどのようなことが行われているのか、八戸市の医療体制の現状はどうなっているのかについて詳しく教えていただきました。その中でも特に、八戸圏域はドクターカーやドクターヘリなどの救急医療体制が充実していると伺ったことが印象に残っています。将来は八戸で医療関係の仕事に就くことを考えているので、とても良い機会になりました。